

Japanese Unexamined Utility Model Publication No. HEI 6-37057

Publication Date : May 17, 1994
Inventor : Kunihiro MATSUMOTO
Title of the Invention: Crossbeam and its Mounting Structure
Application No. : HEI 4-74998
Date of filing : October 28, 1992
Applicant : Isuzu Motors Limited

(Object)

To improve rigidity of a crossbeam and supportability of components provided on the inner side of an instrument panel of an automotive vehicle.

(Construction)

A crossbeam 100 provided on the inner side of an instrument panel of an automotive vehicle 10 is fixedly supported to the dashboard-side inner panel 12 at both ends thereof. The crossbeam 100 includes a linearly extended portion 105, an end portion 120 continued from the linearly extended portion 105, and a bent end portion 110. The both ends of the crossbeam 100 are fixed to the dashboard-side inner panel 12 via brackets 114 and 124, respectively.

A steering support bracket 30A is mounted to the linearly extended portion 105 by a mounting portion 31. A steering column is mounted to a joint portion 32. The upper part of a front console bracket 40A is also supported to the linearly extended portion 105 of the crossbeam. With this arrangement, the linearly extended portion 105 is movable toward the vehicle chamber. Thereby, the supporting members are securely mounted (rigidity of the members is strengthened), and vibrations thereof are suppressed.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-37057

(43)公開日 平成6年(1994)5月17日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 2 D 1/16
25/08

識別記号

庁内整理番号

9142-3D

J 7816-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全 3 頁)

(21)出願番号

実願平4-74998

(22)出願日

平成4年(1992)10月28日

(71)出願人 000000170

いすゞ自動車株式会社

東京都品川区南大井6丁目26番1号

(72)考案者 松元 匡宏

神奈川県藤沢市土棚8番地 いすゞ自動車

株式会社藤沢工場内

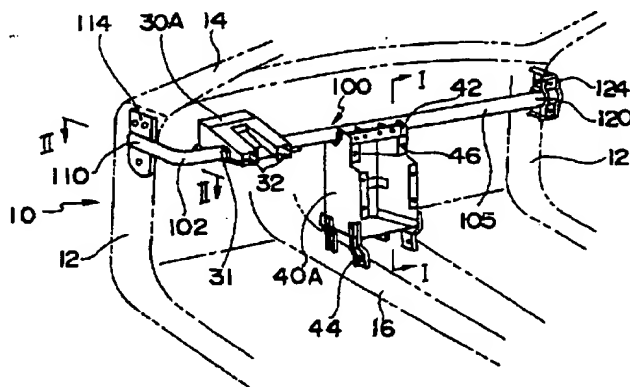
(74)代理人 弁理士 沼形 義彰 (外2名)

(54)【考案の名称】 クロスビームとその取付構造

(57)【要約】

【目的】 インストルメントの内側に配設するクロスビームの剛性と部材の支持性の向上をはかる。

【構成】 自動車10のインストルメントパネルの内側に配設されるクロスビーム100は、両端部をダッシュサイドインナパネル12に固着される。クロスビーム100は、直線部105及びこれに続く直線端部120と、折り曲げられた端部110を有し、両端部はブラケット114と124を介して固着される。直線部105には、ステアリングサポートブラケット30Aが取付部31を介してとりつけられ、結合部32にはステアリングコラムがとりつけられる。フロントコンソールブラケット40Aの上部もクロスビームの直線部105に支持される。直線部105を車室側へ近づけることができ、支持する部材の取付剛性を向上し、振動を制御することができる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 自動車の車室のインストルメントパネルの内側に車軸に直交して配設されるクロスビームにおいて、クロスビームは円筒状の金属管で構成され、ステアリングコラムを支持するステアリングサポートブラケットと及び車室の中央部に配設されるフロントコンソールブラケットが固着される直線部と、ステアリングサポートブラケットが固着される側の端部を直角に自動車の前方へ向けて折り曲げた取り付け用の折り曲げ端部とを備えたことを特徴とする自動車のクロスビーム。

【請求項2】 請求項1記載のクロスビームは、その折り曲げ端部を軸線がダッシュサイドインナパネルに対して平行な状態でブラケットを介して運転席側のダッシュサイドインナパネルに固着され、他端部を軸線がダッシュサイドインナパネルに直交する状態でブラケットを介して助手席側のダッシュサイドインナパネルに固着されることを特徴とする自動車のクロスビームの取付構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例を示す斜視図。

【図2】 図1のI-I断面図。

【図3】 図1のII-II断面図。

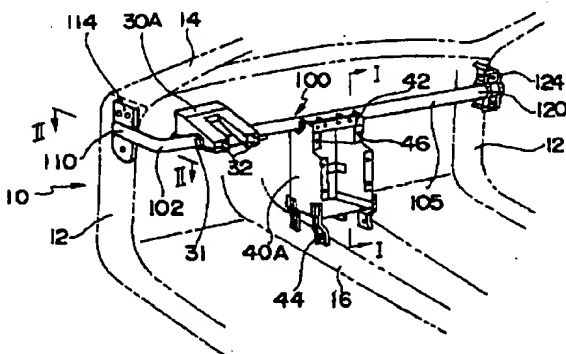
【図4】 従来の装置の斜視図。

【図5】 従来の他の装置の斜視図。

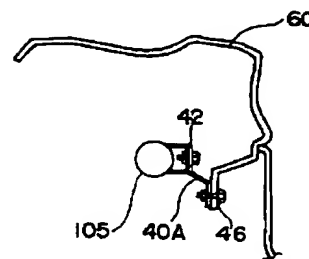
【符号の説明】

- 10 自動車
- 12 ダッシュサイドインナパネル
- 14 フロントビラーインナパネル
- 16 フロアーパネル
- 30A ステアリングサポートブラケット
- 40A フロントコンソールブラケット
- 60 インストルメントパネル
- 70 ドア
- 80 ドアヒンジ
- 100 クロスビーム
- 105 直線部
- 110 折り曲げ端部

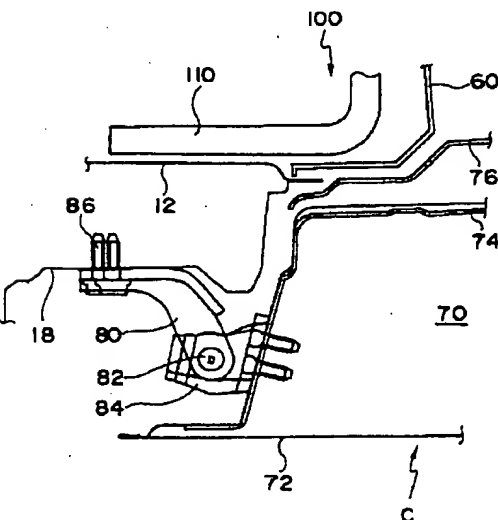
【図1】



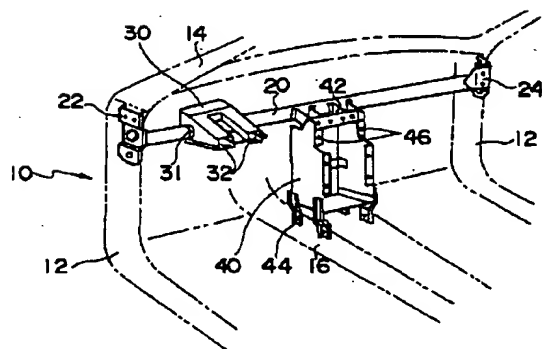
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

